

昌子の広場

第39報

小林昌子議会報告

和泉市無所属市民派議員
小林昌子

和泉市緑ヶ丘 2-13-10
 自宅 Tel(Fax) 0725-54-2626
 事務所 Tel(Fax)0725-53-4451
 Email masakokob@yahoo.co.jp
 http://masako-hiroba.info/
 ホームページもご覧下さい
 yahoo の小林昌子で検索出来ます



**市民へのしわ寄せ法案可決
今年11月から医療費助成制度改定**

目次

- ・医療費助成制度改定される P1
- ・10月議会一般質問 P2-3
- ・昌子の広場 P4

10月議会で医療費助成法案の改定が決まりました。高齢者に厳しい改訂。

	現行	改定後	現在の助成対象者(人)	財政負担軽減額(万円/年)	
				和泉市分	大阪府分
乳幼児医療	小学校就学前の児童の入院及び4未満の乳幼児の通院無料	同左変更なし 但し一部自己負担導入(*)	7,580	-6,320	-40
母子家庭医療(ひとり親家庭医療)	15歳迄の子と母の入院及び18歳迄の子の入院は無料	18歳までの母子・父子に拡充 但し一部自己負担導入	2,544	230	350
障害者医療	所得が1,000万円まで無料	所得が462万円までに規制強化 但し一部自己負担導入	1,215	-610	-920
老人医療	65-69歳の非課税所帯は1割負担 特定疾患対象者、結核予防法、精神保健及び精神障害福祉に基づく医療を受けている人で本人所得が一定以下(*1)	全廃、3割負担で一般と同じ(但し経過措置あり) 変更なし	2,227	-725	-1,100
一部負担金助成	障害者医療対象者は所得1,000万円まで無料 上記(*1)の人	所得が462万円までに規制強化 但し一部自己負担導入	1,593	-875	-1,310
(*)一部自己負担とは1医療機関につき500円、月2回まで迄自己負担			15,159	-8,300	-3,020

来年度は経過措置でこの程度であるが5年間で大幅に増加

今回の改訂の特徴は一人親家庭医療に助成対象が拡大されるものの、その他は大幅な負担増を伴う改訂です。特に老人医療については5年間の経過措置があるものの殆どの方が1割から3割の負担増となり(上の表の黒塗り部分)、高齢者にとって厳しい改訂となっています。又無料の人にも一部自己負担が追加されました。今回の議案には共産党全議員と大橋議員、飯塚議員と私が反対しましたが、多数で可決されました。このような社会的に弱い人々に負担を押しつける前に、税金の使い方を改めれば何とかなのです。例えばその必要性が全く理解できない泉州東部農用地整備事業等が典型で、このような公共事業に多くの税金が投入されています。まもなくこの事業に掛かった費用の償還が始まります。和泉市だけでも毎年数億円の税金が必要となると考えられます。現在この制度を利用している人は全体で15,159人。これによる財政軽減額は和泉市+大阪府で1.1億円/年強です。これが新たな市民への負担になります。大阪府の財政軽減額に一部を加え毎年5,500万円を和泉市が負担すれば制度の継続が可能です。泉州東部農用地整備事業の償還額でお釣りがきます。

一般質問報告

項目	質問	答弁
テクノステージ和泉について	企業誘致状況と今後の見通しは	現在 83.7%の契約率で今年度中には完売見込み
	税収・雇用の効果は	平成 16 年度で固定資産税 + 市民税で 4.8 億円 雇用はパートを含み全体で 2,500 人、和泉市在住者で 750 人
	昨年度の決算では損失が一気に増え、累積損失が 149 億円と資本金の 15 倍となり一般企業ではとうに破綻状態。このような中でも 4.4 億円の利息が支払われている。利息の合計は、金利減免の交渉はしたのか	利息の合計は 77 億 9 千万円。金利は長期プライムレートに 0.25% 上乗せした利率。 平成 13 年 12 月以降の融資分については利息の支払いを停止
	このような大きな損失を抱える和泉コスモポリスの損失処理に新たに市の負担は無いのか	出資金の範囲を超える負担は無い
	【要望】これ以上の税金を投入しての幕引きがなされないよう強く要望する	
	【議場外】泉佐野や岸和田コスモポリスが破綻したのと比べ、とにかく事業が完遂できたことについて関係者の努力を評価したい。しかしながら当初目的とした知的情報先端企業を誘致してこれを市の発展の起爆剤とするもくろみは崩れ、単なる産業団地となったのは残念。今後の損失処理で新たな市の負担が発生させないよう注視していきたい。	
槇尾川ダムについて	現在大阪府においてこの計画の再評価中であり、かつ大阪府の監査報告でも再評価の結果を尊重して事業を進めるようとの報告が出ているにもかかわらず、何故ダム周辺の木々の伐採を行うのか	前回の再評価で条件付の推進が認められており、その後の条件への対応も行ったので、事業を進めている。その一環としての 3.6 ヘクタールの木々の伐採である。
	伐採が行われている状況を見ての感想は	一定事業が進んでいるのかなあとの感想
	槇尾川ダム通信 13 号で昨今の集中豪雨に対応してダム及び河川改修を実施中とあるが、この記事はダムを作れば水害は大丈夫といっているのか	集中豪雨はどこでも起こることを周知するのが目的である。このダム + 河川改修で対応が可能かは流出解析を行っていないのでなんともいえない。
	台風 23 号の雨で木が伐採されたところで土砂崩れが起こり交通が遮断されたが	40トンの土砂崩壊があった。適切な指導を大阪府へ申し入れた
	【議場外】今年の集中豪雨の水害はダムが無かった為に川から水が溢れたのではなく、堤防の決壊が水害を招いたところが多い。全国の河川の緊急点検の結果補修が必要な箇所は都道府県管理の所で 905 箇所、予算の制約から現在の補修実施率は僅か 10%に留まっている。お金のかけどころが違っている。流出解析を行っていないとの答弁は誤り。今回の再評価のダムの費用対効果を出すため解析を行っている。その結果は私のホームページにもあるようにダムの効果は浸水面積で僅か 3%減るだけで、浸水深さでは 3cm 少なくなるだけの効果しかないことが明らかになっている。	
	整備事業の進捗状況は	小川西団地；平成 13 年着工。17 年度完工予定 善正団地；平成 15 年着工。17 年完工予定 小川東団地；本年地権者の合意。工事はこれから 坪井・福瀬、岡団地；これから地権者の合意の段階
山林の伐採に伴う保水力低下の対応は	雨が降って下流に一気に水が流れないように一旦貯めるための洪水調整池を設置。 調整池の能力は小川西団地で 5,300 t、善正団地で 4,400 t、他は現在詳細設計中	
計算根拠は	50 年確率対応。時間雨量 176.1mm。流出係数 0.8	
時間雨量が大きすぎる。ダム計画でも 100 年確率で 86.9mm。再調査を要求します	再度問い合わせ確認する	
泉州東部農用地整備事業について		

	農業拠点施設の概要と進捗状況は	小川西団地に建設するもので、都市住民と農村の交流、農産物の加工体験等多面的な機能を持つ施設。民間活力を導入し、平成19年に供用開始の予定。
	【要望】厳しい財政難の中であって、休耕地等利用されない耕地が沢山ある中で、わざわざ山地の緑を破壊して農地を作ることにどれほど意味があるのか。市民にそっぽを向かれた事業になるのではと危惧する。国、府の事業といわず勇気ある和泉市の良識を見せていただきたい	
学校教育の充実について	06年度からの国の方針でもある教職員の独自採用は	現在教育委員会としては議論していない。独自採用に関わらず研修等を通じ資質向上を図る
	全国の自治体で教育特区の指定を受け、特色のある取り組みをしているが	現在そのような指定は検討していない。学力の向上、豊かな人間性の育成、健康教育の充実と体力の向上の三つの目標に向けさまざまな取り組みを行っている。今後もさらに充実していきたい。
	市内の一部の学校では素晴らしい心地よいトイレがある一方換気扇も無い古びた臭気のあるトイレが多く残っている。トイレ改修の年次計画があるか	未改修トイレは小学校103箇所、中学校60箇所ある。改修の必要性は認識しているが予算の制約等があり改修の年次計画は持っていない。
	体育館の耐震診断及び築35年以上についての改修計画は	耐震診断は17年度中に完了予定。35年以上経過の体育館の改修は計画的に建て替える方向で予算獲得に努めたい
	一部の中学校の水泳の評価に女子生徒は入水回数のみで評価しているが、男女共同参画の視点からあまりにも偏向しているのでは	技能や関心、意欲、態度等に基づいて評価すべきであり、指摘された評価法は不適切である。本市が推進している男女共同参画の視点からも問題がある。早急に改善を指導する。
	【要望】小中高の英語一貫教育を行うことで教育特区となった群馬県太田市の清水市長は「子供にはケチらない」と言っている。トイレについてはせめて義務教育期間中に3Kといわれるトイレから解放すべく年次計画を作ってほしい。予算担当者は是非学校に出向き現実を知ってほしい。教員採用に関しては採用する側に民間人の起用を考えて頂きたい	
ゴミ問題について	EMぼかし・コンポストとも導入当初からみて普及促進が低迷しているが	制度導入当初はごみ減量に理解ある人が多数利用したが、臭気や虫の発生等でその後使用していない人もあり、今後一層PRに努めたい
	電気式生ゴミ処理機への補助の可能性は	モニターの調査結果では処理材料の購入費や電気代などの費用の問題を指摘する人もあり、近隣市の状況等検討した結果補助制度の導入は考えていない
	現在約半数の家庭を対象に実施しているゴミの新分別収集の費用と今後の予定は	現在35,000世帯で実施しており、その費用は8,900万円。平成17年度より全域で実施予定。そのときの費用は1億7,800万円
	【要望】コンポスト等を否定的考えているようだが、アンケート結果から現在でもこれを使っている方が沢山おられる。この人たちの知恵と力を借りて進められるよう要望する。又ゴミ処理に要する費用は年間で24億円もの巨費が使われている。ISO14001を取得した市にふさわしいゴミ行政を市民とともに構築していただきたい	
雨水の利用について	限りある資源の有効活用の観点から、家庭での雨水の利用についての助成は	今後普及啓発に努めながら方向性を見極めたい
	防災対策としての雨水の利用は	先の阪神淡路大震災でも明らかなごとく、被災時の水の確保は最重要な課題であり、その点から雨水の利用について防災対策の一環として取り入れていくべきものとする
	【要望】先頃の新潟地震でも雨水の利用の必要性が再認識されています。行政の手が届く前のせめて2日間は自前での対応が可能なよう、家庭での雨水利用を是非検討願いたい。	

槇尾川ダムの森林伐採で山崩れ

先頃の台風23号襲来に伴う大雨で、ダム関連で伐採された所で10月20日40トンの土砂が崩落し、一時通行不能となりました。

このように森は多くの恵みを私たちに与えてくれています。伐採されて積み上げられた木々の叫びが聞こえるようです。



まだ始まったばかりの伐採です。これが本格的に行われたときの予想できない災禍が心配されます。

お願い。ホームレスの方に衣類提供を！

急に寒くなってきました。これからはテントで暮らす人に暖かい衣類が必要となります。ご協力をお願いします。宜しければお家まで引き取りにお伺いします。
Tel 0725-54-2626 小林迄ご連絡下さい。
既に12回釜ヶ崎にお届けしました。



昌子の日記

- 10/1 ハート会議、石尾っ子会議、観光ボランティア講座
- 10/2 久保惣浮世絵版画展、自治体議員勉強会
- 10/4 和泉中央駅会報配布、役員選挙、ピースウォーク実行委員会
- 10/5 和泉中央駅会報配布
- 10/6 和泉中央駅会報配布、福祉講座
- 10/7 和泉中央駅会報配布、役員選挙
- 10/8 役員選挙
- 10/9 俳画展
- 10/10-11 万葉講座(山陰へ)

- 10/12 光明池駅会報配布
- 10/13 和泉中央駅会報配布、本会議、市政相談会
- 10/14 民生企業委員会傍聴
- 10/15 信太駅会報配布、産業建設委員会、洋ランの会、石尾っ子の会
- 10/16 「軍隊をすてた国」上映会
- 10/17 交通安全市民の集い、「白狐」鑑賞
- 10/18 総務文教委員会傍聴
- 10/19 議運
- 10/20 和泉中央駅会報配布
- 10/21 ソロプチ会議、子ども家庭サポーター
- 10/22 一般質問、ピースウォーク反省会、石尾っ子の会
- 10/23 商工、緑化、水道フェア、子育て講演会、泉南市議選応援
- 10/25 一般質問
- 10/26 本会議
- 10/27 事務所運営委員会、消防パトロール、市政相談会
- 10/28 北信太駅会報配布、ワンステップ例会
- 10/29 和泉中央駅会報配布、Sコープ中期計画会議
- 10/30 犬のしつけ教室

<事務所行事> いずれも小林昌子事務所
(緑ヶ丘1-3-15)

連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626
事務所 TEL 0725-53-4451

万葉講座

- ・講師 大高勇さん(犬養万葉顕彰会会員)
- いづれも午後2時より 参加費1,000円(3回分)
- ・29回 10/10(日) 一泊万葉旅行(山陰) 済み
- ・30回 11/13(土) 万葉の花鳥風月 秋の花
- ・31回 12/11(土) 万葉の花鳥風月 霧、雪、雲

ちぎり絵講座

- ・12月8日(水) 13-16時
- ・講師 西原志満子さん
- ・参加費 実費 千円程度

パソコン講座(参加費無料)

- ・毎週 木、土曜日 14時から約2時間
- ・そろそろ年賀状に季節です
- パソコンでオリジナルな年賀状を作りませんか
- ・パソコンが初めての方もどうぞ遠慮なく。
- 初めてこられる方はご連絡下さい

市政相談会

- ・第2、4水曜日 20:~21:30
- この時間帯で都合のよい時間にお越し下さい